

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
甘楽町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	令和6年度は、町内小学校児童数において、1年生85%、2年生80%、3年生45%、4年生38%、5年生8%、6年生12%が登録し利用した。令和7年度もほぼ同数の利用申込がある。特に低学年の利用者の割合が多く、毎日利用する児童も半数近くいる。放課後の遊びについて、ボードゲームなど既製品や砂場、固定遊具や工作など活動に広がりが見られない。	地域住民の協力を得ながら、活動を行っている。	遊びの広がりを持たせるために、様々な体験活動の機会の場を設け身体を動かす楽しさや、友達または異学年の友達とも関わりながら、自ら進んで意欲的に行動できる活動を提案していく。	地域のスポーツ団体に依頼し、低学年の児童を中心に興味を持って参加できるバレーボール等の体験活動を実施し、放課後児童の遊びやその後の活動の幅を広げる。	スポーツ団体等による体験活動を学期に1回実施し、3地区年間3回（合計9回）参加する1・2・3年生児童合計の割合	70	%	95	95	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 各放課後子ども教室で、スポーツ教室（サッカー、バレーボール）を2回、工作教室を4回、合計18回実施した。スポーツ教室については、スポーツ少年団やサッカー協会に指導を依頼し、様々な運動を行うことができた。工作教室については、昨年度より実施回数を増やし、児童の自由な発想により、意欲的に取り組む姿が見られた。今後も継続して様々な体験活動の場を提供していきたいと考えている。